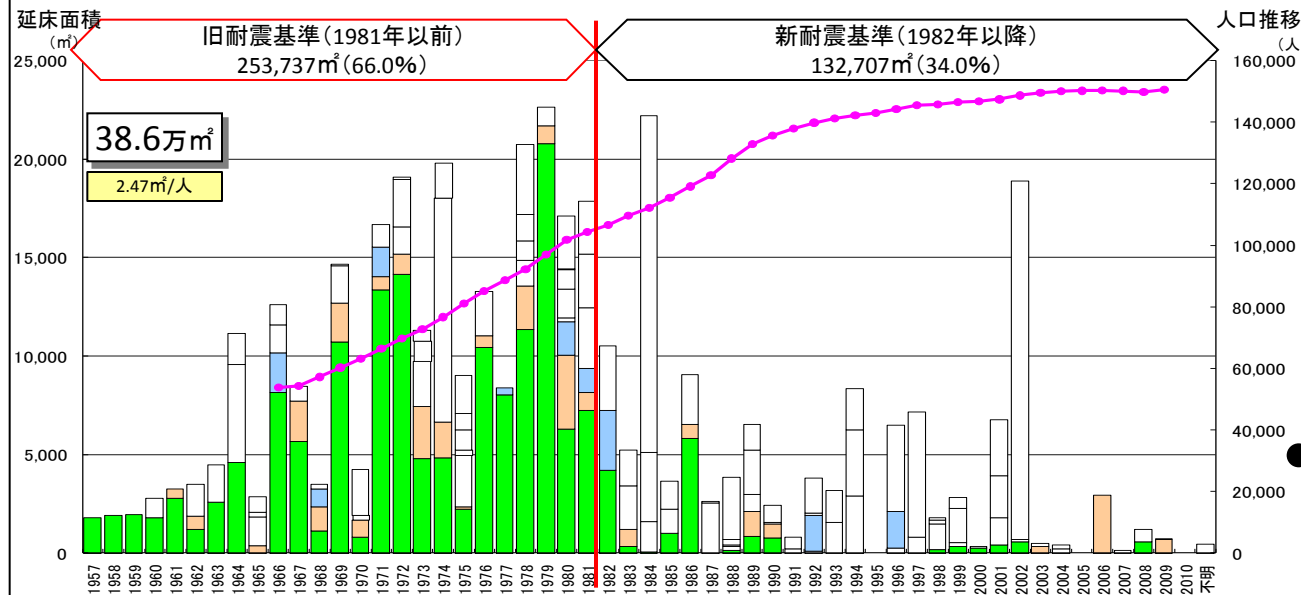


保有する公共施設 38万6,444㎡



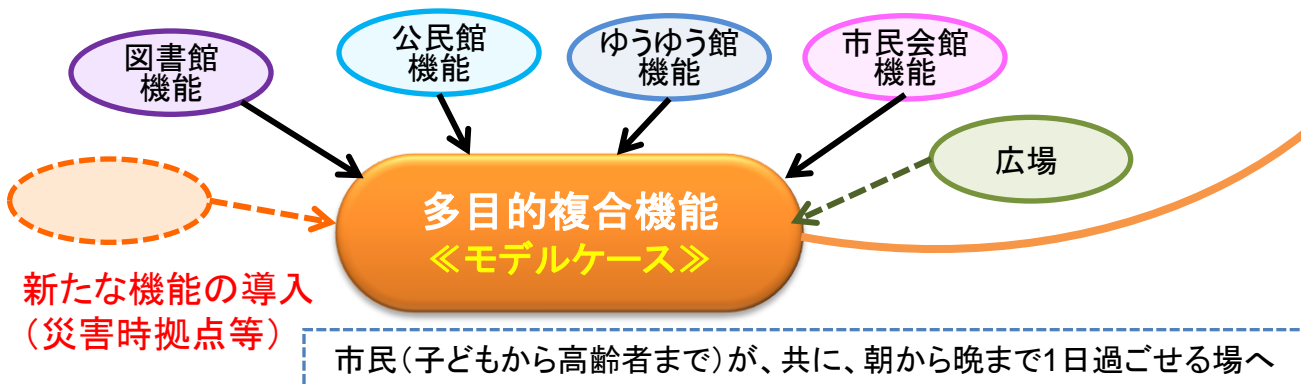
用途	延床面積	構成比	用途	延床面積	構成比
生涯学習施設	1万9,154㎡	5.0%	行政系施設	1万4,776㎡	3.8%
小・中学校	16万3,932㎡	42.4%	市営住宅	2万8,733㎡	7.4%
その他教育施設	2万7,343㎡	7.1%	消防施設	8,940㎡	2.3%
子育て支援施設	2万9,842㎡	7.7%	公園	2,579㎡	0.7%
保健・福祉施設	1万4,780㎡	3.8%	供給処理施設	5万2,025㎡	13.5%
スポーツ施設	1万3,528㎡	3.5%	その他	1万812㎡	2.8%

※生涯学習施設
公民館、図書館、ゆうゆう館、コミュニティセンター、市民会館、勤労会館、青少年施設

20万8,207㎡ (全体の約54%)	地域対応施設(12建物)	1万4,433㎡
	小・中学校	16万3,932㎡
	子育て支援施設	2万9,842㎡

※地域対応施設(12建物): 公共施設マネジメント白書による
公民館、図書館、ゆうゆう館、コミュニティセンター、市民会館等で構成される12の建物

単一目的施設から、複合化・機能連携による効率化を図ることで、時代の変化に対応し、総量を圧縮しつつ、サービスレベルの向上を図る



コンパクトな自治体(約21km²)の特性を生かし、
地域に身近な機能のレベルアップと
地域に応じた機能に変えていく。

公共施設
マネジメント
白書

- 少子高齢化の進展
- 人口減少社会の到来
- 厳しさを増す財政状況

- 問題意識の共有化
- 市民協働・公民連携

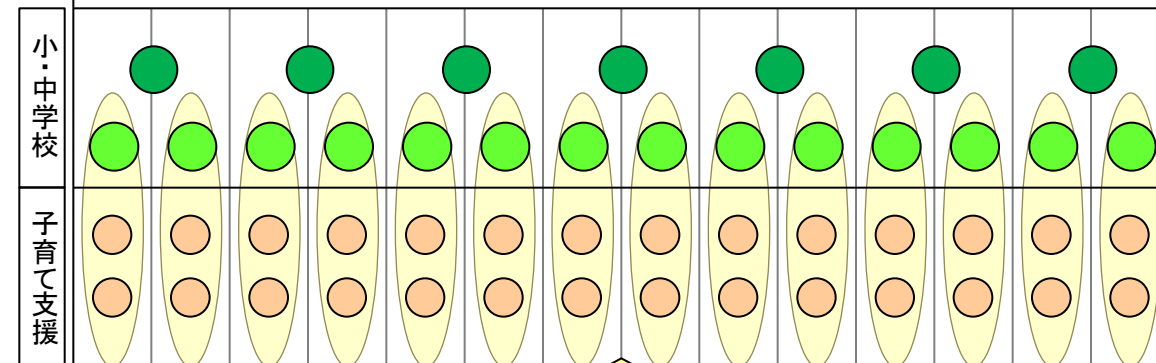
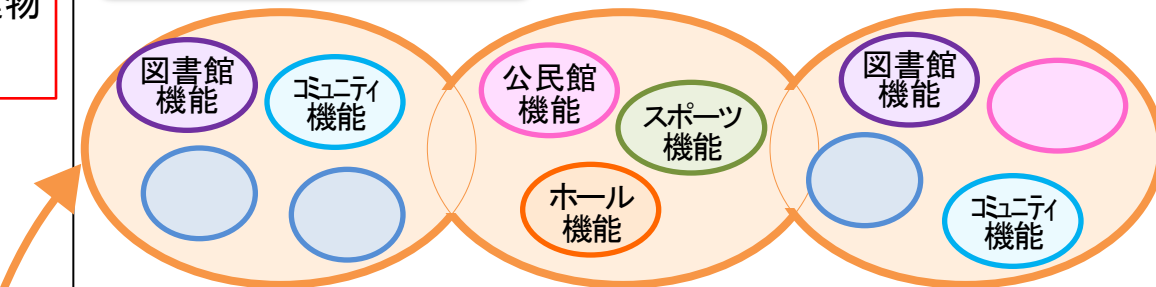
いろいろな
観点からの
実態把握

- ・トータルコスト
- ・利用状況
- ・運営状況
- ・土地建物状況

- 集中と選択
- 効率的運営
- 公共施設の総量の圧縮

- ◆バリアフリーの実現
- ◆低炭素社会への対応
- ◆地域経済の活性化

多目的複合機能



(こども園構想との連動)

地域の核となる公共施設《地域コミュニティ機能》
(子育て支援機能)(福祉機能)(地域対応施設)等の導入

人口構成の変化、開発動向を意識した
機能導入及び再配置計画